

平成 27 年 1 月 28 日

各 位

林 野 庁 広 報 室  
( 公 社 ) 国 土 緑 化 推 進 機 構  
ミ ス 日 本 コ ン テ ス ト 事 務 局

## 2015 年から新たに創設された「ミス日本 みどりの女神」の 選定およびご活用について (ご案内)

我が国では、2020 年にオリンピック・パラリンピックが開催される予定であり、世界から注目が高まることが推察されています。

こうした中で、世界有数の森林国であり、古来から「木の文化」が営々と培われてきました。今日まで培われてきた木の文化を再評価し、新たな現代的な価値や意義を加味しながら、緑や木の重要性を幅広く社会に発信していくことが期待されています。

このため、2015 年よりミス日本コンテスト事務局と林野庁・国土緑化推進機構は連携して、新たに「ミス日本 みどりの女神」を任命することとし、去る1月26日に「第47回ミス日本コンテスト2015」が開催され、初代「ミス日本 みどりの女神」が「別紙1」の通り、選出されました。(※)

「ミス日本 みどりの女神」は、日本の木の文化や、緑や木の重要性をわかりやすく発信する役割を担っており、さらにはメディア等へのパブリシティの促進、イベント等における注目度の向上、さらには若さや美しさから緑や木の新たな価値の発信の役割を担うことも期待されています。

つきましては、貴組織が実施する各種イベントや普及啓発資材の制作等に際して、「別紙2」を参考にご活用をご検討頂きますよう、お願い致します。

※「ミス日本 みどりの女神」等を、農林水産省「みどりの広報大使」として任命される予定です。

【1】 申込手順 以下の手順にて、申し込みを受け付けします。

- ① 別添「派遣申込書(様式1)」に必要事項を記入の上、事務局までお申込み下さい。
- ② 事務局で「ミス日本みどりの女神」等のスケジュールを確認して、派遣の可否をご連絡いたします。(概ね3日以内)
- ③ 当日の出演内容等について調整して派遣計画を確定します。(必要経費等も確定)
- ④ 派遣計画に基づいて、「ミス日本みどりの女神」等とマネージャーの2名が、行事等にお伺いします。
- ⑤ 事業の終了後、事務局から請求書が発行されますので、お振込み下さい。

【2】 派遣経費 「ミス日本みどりの女神」の派遣に必要な経費は、以下の通りです。

### 《基本経費》

- ① 出演費(次頁参照)
- ② 実費(交通費・宿泊費・食費[※]／本人・マネージャーの2名分)  
※ 交通費は、特急・新幹線は普通指定席、飛行機はエコノミーで可。

### 《オプション経費》

- ③ 和装の場合の着付け・メイク代等

《出演費の区分》

タイプ	内 容	経費（税抜き）
タイプⅠ 「イベント等出演型」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等に1日出演（メディア等への対応も可）</li> <li>・報告素材としての写真等の利用可</li> </ul>	[行政・団体等] 5万円～
タイプⅡ 「広告等取材型」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアに出稿する広告素材や、対外的に配布するPR資材へのインタビュー・対談等</li> </ul>	[民間等] 20万円～
タイプⅢ 「メディア・公的媒体取材型」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞・雑誌・テレビ等の大衆メディアや、行政や公益法人の機関紙・会報等へのインタビュー・対談等</li> </ul>	各社規定を元に調整（原則的に、1万円～）
タイプⅣ 「キャラクター使用型」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に露出されるCM・ポスター・WEB等の広告媒体への出演</li> </ul> ※ 掲出期間・場所により金額は変動します。 （右記は半年掲出の場合の基本金額。但し、公共性が高い内容の場合は、金額が調整される場合もあります。）	[業界*ス*等] 10万円+実費 [企業*ス*等] 50万円+実費

【3】お申込先・お問い合わせ先

～できるだけE-mailによる連絡にご協力下さい～

《全般について》公益社団法人国土緑化推進機構（担当：政策企画部 木俣）

TEL：03-3262-8437 FAX：03-3264-3974 E-mail：[fore-sapo@green.or.jp](mailto:fore-sapo@green.or.jp)

《申込について》ミス日本コンテスト事務局（担当：統括マネジャー 和田健太郎）

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 京王プラザホテル南館10階

TEL：03-5323-0781 FAX：03-5323-0782 E-mail：[missnippon@wadaken.net](mailto:missnippon@wadaken.net)

（様式1）

2015年 月 日

「ミス日本 みどりの女神」等派遣申込書

ミス日本コンテスト事務局 宛

（申請団体名）

（代表者役職・氏名）

「ミス日本 みどりの女神」等の派遣を申し込みます。

主催者			区 分	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 公益法人 <input type="checkbox"/> 民間
行事等名				
行事等タイプ <small>（該当するタイプにチェック）</small>	<input type="checkbox"/> タイプⅠ「イベント等出演型」 <input type="checkbox"/> タイプⅡ「広告等取材型」		<input type="checkbox"/> タイプⅢ「メディア・公的媒体取材型」 <input type="checkbox"/> タイプⅣ「キャラクター使用型」	
行事・取材 等の概要	ミス日本の役割			
実施日時	月 日（曜日）	時～ 時	実施場所	
担当者	氏 名			役 職
	住 所	〒		
	電 話		E-mail	
備 考				

報道関係者各位

2015年1月27日送信

◆ご案内◆

1枚／全4枚

## 第47代ミス日本グランプリ決定！

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

1月26日(月)11時より新宿京王プラザホテルにて、第47回ミス日本コンテスト2015

(主催:ミス日本コンテスト事務局 後援:スポーツニッポン新聞社)が開催され、47代目となるミス日本グランプリとして芳賀千里さん(はがちさと、22歳、東京都出身、日本女子体育大学体育学部4年)と、その他にミス日本各賞5名が選出されました。

ミス日本コンテストはその年を代表する若く可能性あふれるお嬢さんに「日本女性の美の最高位」としての栄誉を贈り、そして将来向かう分野でリーダーとなりえるように、一年間の任期中に多くの経験機会を通じて成長を促すことを目的に開催しております。

今年は新しい取り組みとして、コンテスト外ですでに活躍している女性に、さらなる活躍を願って贈る特別賞「和田静郎特別顕彰ミス日本」の創設、そして国土の7割を森林が占める日本国の林業や木の文化を発信する役割を担う「ミス日本みどりの女神」が創設され、いずれも素敵なお嬢さんが選ばれております。

ぜひ、選ばれましたお嬢さま達をあたたく応援いただきますと共に、やる気と可能性にあふれたイキイキとした笑顔の受賞者達に、活躍の機会を頂戴できればありがたく存じます。

今後とも、ミス日本を何卒宜しく願い申し上げます。

敬具



### 芳賀 千里 (はがちさと)

東京都出身 日本女子体育大学体育学部  
スポーツ健康学科4年

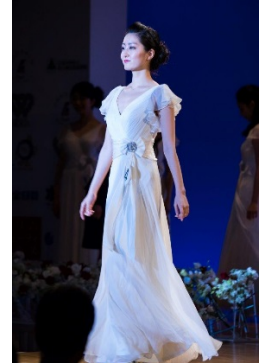
1992年10月19日生まれ、22歳

特技:シンクロナイズドスイミング、マッサージ

趣味:水泳、スポーツ観戦、映画鑑賞

将来の希望:家族や家庭を大切に、元気にハツラツと働く女性

座右の銘:つよく、正しく、美しく。つらい時こそ笑顔



◆ 受賞時の本人コメント ◆

この一年、本当に苦しいことばかりだった。(シンクロナイズドスイミングの)ユニバーシアードの大会では世界の厳しさ、日本代表としての厳しさを少し知ることができました。でも自分の力不足で怪我をしてしまい、自分自身で(日本代表を)辞退することを決めました。とても苦しかったです。その時の苦しさがあったからこそ、まだスポーツという一つの世界にしか私はいなかったのだと気づくことができました。ミス日本を受けて、ここまでこられて、本当に素晴らしい経験をさせていただきました。

◆ 審査講評 審査委員長 酒井政利 (メディアプロデューサー) ◆

回を重ねるごとに、ミス日本としての和の美しさの基準を何処に追いかけるかが難しい。最近の女性は変貌してきた。伝統は進化する。和の美しさの中に、積極性あるいは攻撃性すらも加味されてきている。受賞した方々はしっかりと強い覚悟をもって自分の分野に挑戦してほしい。そして活躍、成長してほしいと願っています。

水泳は3歳から、シンクロは小学校3年生から開始。シンクロの日本代表選手としてこれまでも海外大会(セントリオール、インディアナポリス、北京、モスクワ、カザン)に出場してきました。

2014年度全日本シンクロナイズドスイミング日本代表に選出されるも怪我(胸郭出口症候群)により身体に麻痺を感じるようになり、代表を辞退して、選手引退。現在もリハビリは継続中です。

母のススメで新たな道を模索してミス日本に挑戦することに。勉強会では将来のことを改めて考える良い機会になり、多くの涙と共に笑顔を取り戻してきました。

度胸と根性はさすが日本代表。修練と努力は当然、と考える姿勢も特に立派です。

話してみると、感受性豊かで涙もろい一面も。

< 本件に関するお問合せ先 >

ミス日本コンテスト事務局 担当マネージャー 和田健太郎

TEL:03-5323-0781 Fax:03-5323-0782 携帯080-7191-0707

Mail: missnippon@wadaken.net WEB:http://www.sponichi.co.jp/miss\_nippon/

## 今年新設の特別賞「和田静郎特別顕彰ミス日本」受賞者



新体操ナショナル選抜団体チーム  
フェアリー ジャパン POLA  
キャプテン 畠山愛理  
(はたけやまあいり)  
1994年8月16日生まれ 東京都出身  
日本女子体育大学在学 身長:170センチ

ミス日本コンテストは本人あるいは推薦による「応募」により、輝く未来への可能性を引き出すことを目的としています。しかし同世代の中には社会的に活躍されてすでに輝きを放っておられる女性や、忙しい立場にあつてコンテスト出場が不可能な女性もおります。

そうした中から、ミス日本にふさわしいと認める女性1名にますますの活躍を願って贈る、**特別栄誉賞のミス日本**です。

本人受賞時コメント:

このような素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。私は新体操の日本代表としてとして毎日8時間練習しています。来年のリオオリンピックの出場権がかかった世界選手権が今年に控えています。皆さんに新体操の素晴らしさを知っていただきたいです。機会がありましたらテレビなどつけて応援してくださったら嬉しいです。

## ◆大会基本情報◆

大会正式名称: 第47回ミス日本コンテスト2015  
開催日時: 平成27年1月26日(月)  
会場: 新宿京王プラザホテル南館5階  
エミネンスホール

※※呼称について※※  
ミス日本 ⇒ みすにっぽん と読みます。

主催: ミス日本コンテスト事務局  
協賛: 株式会社全日警  
ブライダルスタイリストSOGA  
株式会社スリムビューティハウス  
「21世紀の下水道を考える会」協議会  
一般社団法人日本水道工業団体連合会  
阪神調剤ホールディング株式会社  
株式会社新昭和  
公益社団法人国土緑化推進機構  
株式会社市川環境エンジニアリング  
番町美容歯科  
IBF国際美容連盟  
フラワーデコレーター協会  
後援: スポーツニッポン新聞社  
協力: 公益財団法人日本海事広報協会  
タダシインターナショナル有限公司  
株式会社三愛  
銀和徽章株式会社  
一般社団法人日本青少年育成協会

2015年度大会テーマ: 行動する新日本美人  
テーマ解説:

昔と比べて女性の社会進出の環境が整いましたが自己実現の夢は、やはり自らの力で切り拓いて行く事が求められます。積極性、チャレンジ精神をもった女性を、新たな日本の美人像として選んで参りたいという願いが込められております。

2015年度大会審査員: 40名  
応募期間: 2013年12月～2014年8月15日  
応募総数: 2426名  
ファイナリスト: 14名

勉強会期間: 2014年9月～2015年1月  
ファイナリスト達はコンテスト事務局が無償で提供する勉強会を通じて、研鑽に務めてきました。

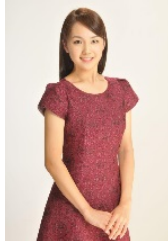
### ◆審査員の一部ご紹介(順不同)◆

酒井政利 (審査委員長)メディアプロデューサー  
櫻間右陣 能 金春流櫻間家第21代当主  
相沢英之 元・国務大臣 現・弁護士  
原田政彦 ボクシング元世界チャンピオン  
二階級制覇 (ファイティング原田)  
鳳蘭 元宝塚トップスター ミュージカル女優  
金井克子 歌手  
南美希子 キャスター エッセイスト  
齋藤清貴 写真家  
中島文博 脚本家  
村山直儀 洋画家  
手塚圭子 保健学博士・医学博士 1977年度ミス日本グランプリ  
森田健作 千葉県知事・俳優  
今井敏 林野庁長官  
松本蘭 ヴァイオリニスト 2009年度ミス日本ミス着物



### 2015年度ミス日本「水の天使」

生命の豊かさを支える美しい水の  
ための人々の努力と、世界の水イン  
フラの発展に貢献できる日本の  
素晴らしい経験と技術をわかりや  
すく伝える役割を担う。上下水道の  
分野で発信する懸け橋約として活  
躍。2012年度より選定。



### 柴田 美奈 (しばた みな)

神奈川県出身  
白百合女子大学文学部  
フランス語フランス文学科1年  
1995年10月24日生まれ、19歳  
特技:クラシックバレエ  
これと決めたら突き通す  
意志の強さが自慢。

今回候補者の中では最年少。たゆまぬバレエの鍛錬で  
根性が備わった、と話す柴田さんは、芯の強さが自慢で  
す。将来は客室乗務員を目指しつつ、より多くの経験を  
求めてミス日本を応募。ちなみに母親が1989年度の準ミ  
ス日本(現在のファイナリストと同格)。理想像としてイギ  
リスで活躍したバレリーナの吉田都さんを掲げる。



### 2015年度ミス日本「海の日」

島国日本になくてはならない海の恵みに感謝し、  
海洋業界への理解と関心を高める役割を担う。  
7月の海の日を中心に海洋関連イベントや安全  
啓発活動にて活躍。1996年度より選定。受賞  
者には豪華客船クルーズや小型船舶免許2級  
取得の徹底サポートなど海レジャーも充実。



### 大河 南都子 (おおかわ なつこ)

愛知県出身 早稲田大学国際教養学部  
国際教養学科3年  
1994年12月21日生まれ、20歳  
特技:バレエ、バイオリン、英語  
趣味:生け花、ミュージカル観賞、ダンス  
将来の希望:国連で平和構築の仕事に携わる  
座右の銘:すべては微笑みから始まる

幼少から海外暮らしで、ハワイの小学校を卒業。バレエを続ける為に  
ニューヨークの中学高校に通っていましたが、脚の靭帯断裂のためにそ  
の道を諦めることに。大学は日本を選び帰国しました。  
思考言語が完全に英語であり、話す際は英語で考えて翻訳をしている  
そうです。真の国際人になるために、日本を勉強しなおす日々。  
ダンスの道は断たれてしまいましたが、趣味として現在も続けています。  
バイオリンも得意。理想に掲げる女性は国連高等弁務官を務めた緒方  
貞子氏。志が高い。

### ◆今回初めての新賞です！◆

### 佐野加奈(さの かな)



### 2015年度ミス日本みどりの女神

未来に繋がる豊かな緑を守り、育ててきた取  
り組みや、生活に根ざした日本の木の文化を  
尊び、みどりや木とのふれあいや活用を通じ  
て、みどりと木への親しみを広める役割を担い  
ます。林野庁や林業・環境関連業界の期待  
を受けて、活動を開始します！



将来は最も興味のある食品分野で働きたいと願う東農大生。  
ファイナリストの中でもムードメーカー的存在であり、  
気配りを忘れず、仲間内での信頼も厚いようです。  
小学校3年生からソフトテニス続ける。正月は家族とソフトテニ  
スに明け暮れるのが恒例行事。ファイナリストになり、自らを表現  
することの楽しさに気づくも四苦八苦。  
でも、うまくいかないことにもやりがいを感じている様子です。

静岡県出身 東京農業大学国際食糧情報学部  
食糧環境経済学科3年

1994年3月23日生まれ、20歳

特技:ソフトテニス

趣味:旅行、おしゃべり、フードコーディネーター

将来の希望:日本の食文化を発展させていく職業

座右の銘:感謝は終得の美



## 2015年度ミス日本ミス着物

和装が美しい日本女性に贈られる賞です。和の伝統美を装うことで、世界に日本の美しさを伝える役割を担います。



## 倭 早希 (やまと さき)

広島県出身 横浜国立大学教育人間科学部2年  
1993年2月22日生まれ、21歳

特技:ピアノ・絶対音感

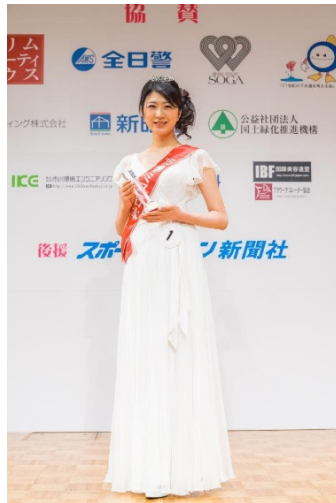
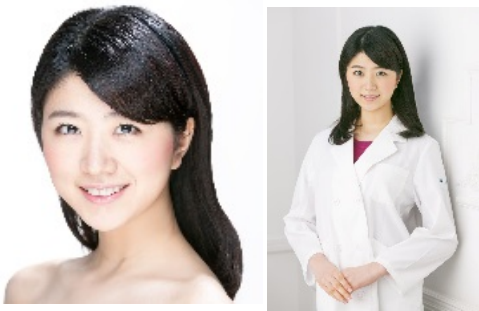
趣味:音楽鑑賞、ダンス、パト

将来の希望:優しく剛く、笑顔の絶えない女性

広島土砂災害の折には、現地につけボランティアスタッフとして活動する行動力をもちます。朗らかな雰囲気につつまれたお嬢さんです。ピアノがとにかく大好きで、弾くのも聴くのも夢中。今も練習は欠かさないそうです。

## 2015年度 準ミス日本

他の模範となる心身の美を備えていることを讃えて表彰。5名のミス日本に次ぐ賞であり、毎年0~2名程度選出される。



## 秋山 果穂 (あきやま かほ)

埼玉県出身 東京大学医学部3年生

1993年6月28日生まれ、21歳

特技:勉強、書道、絵

趣味:文学や芸術にふれること、アロマテラピー、パン作り

将来の希望:医師

偏差値93.7を記録した才女。昨年8月、東日本予選の1週間前に交通事故で開頭手術。(診断:頭蓋骨骨折・硬膜外出血・くも膜下出血 手術:緊急開頭血腫除去術)生死の境をさまようも奇跡的に後遺症なく復帰を果たしました。「自分を表現する分野の勉強はまだまだ!」と話しています。集中力抜群の、向学心の塊のようなお嬢さんです。

## ミス日本は、美しいことはもちろん、教養や心の美、そして実行力が求められます

ミス日本コンテスト事務局は「若く美しい女性に荣誉と実益を与える」ことをスローガンに掲げています。受賞者には日本人らしさ、美しさ、教養はもちろん、社会でリーダーとして活躍していく情熱や行動力が求められます。

## ミス日本コンテストの一つの特徴として、受賞者の後の活躍が多岐に渡ることが挙げられます。

例) 画家、ヴァイオリニスト、映画監督、医学博士、医師、アナウンサー、キャスター、国会議員、地方議員、国家公務員、有名企業CEO、女優、料亭の女将、海外で活躍するモデル、財団の代表などなど…



選ばれた彼女達の、これからの飛躍と活躍にご期待下さいませ。応援宜しくお願い致します。

## (参考) ミス日本「水の天使」等起用傾向について

## ●ミス日本「水の天使」活用実績

- ・2012年と2013年を比較すると(2014年は集計中)、対外行事で活用実績が高まっています。
- ・また、各種行事への出演経験を積み重ねることで、年度中盤以降には一般にも当該分野の取組をわかりやすく紹介できるように育っていきます。

タイプ	2012年	2013年
取材	22回	17回
対内行事	23回	21回
対外行事	43回	57回
合計	87回	95回

## ●タイプ別の活用事例

タイプ	実績写真	ミス日本の役割	ミス日本「水の天使」の活用事例
〈タイプ①〉 取材対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV番組(施設紹介)等 で出演</li> <li>・新聞取材などでトーク 出演</li> <li>・ポスター、リーフレット 等での活王</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山形県きらやか銀行」イメージ キャラクター起用取材</li> <li>・「日本下水道施設業協会」読売新聞 広告出演(1面)</li> <li>・テレビユー山形「ぐっしょぶ YAMAGATA」特番取材</li> </ul>
〈タイプ②〉 対内行事 (式典等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種式典や総会、懇親会 等での司会、テープカット・ 写真撮影</li> <li>・施設見学等への同行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省「水の週間」関連式典表 彰式</li> <li>・東京都「虹の下水道館リニューアル オープン」式典</li> <li>・「日本下水道施設管理業協会」講演 会・懇親会司会</li> </ul>
〈タイプ③〉 対外行事 (イベント)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会やイベントにお けるステージトーク</li> <li>・展示会におけるブース 対応による集客・写真 撮影等のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省「新水道ビジョン シンポジウム」司会</li> <li>・東京都「水道週間イベント in 東京ミ ッドタウン」出演</li> <li>・「エコプロダクツ展 2013」 ブースでのアピール</li> </ul>
対外行事 (国際的 イベント)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本代表としてプレミ アム感を高めVIP対応</li> <li>・和装によりインパクト を高め、ブース集客促進</li> <li>・メディアへの露出拡大 で日本ブランドの発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界水フォーラム」「香港フード EXPO」等でのブースPR</li> <li>・観光庁「ビジット・ジャパン・マル ト」でのプレゼンテーション・VIP 対応</li> <li>・観光庁「Meet The New Japan!キャ ンペーン」キックオフ・外国人案内バ ン</li> </ul>

## ●ミス日本の活用のメリット

- ・アイキャッチとして活用することで、イベントや展示会などで注目度の向上に貢献。
- ・メディア露出は、系列を問わずに多くの媒体で紹介され、無関心層を含めて幅広い読者・視聴者への訴求が可能
- ・写真・映像付きで紹介されることから、紙面等での紹介スペースが拡がり注目度が向上
- ・各種話題づくりとしても登用されるケースが多く、またSNSやスマートフォン等でのクチコミ効果も期待(公式サイト年間アクセスは約500万PV)

## ●その他(過去の事例に見る、二次的波及効果)

- ・2012年のミス日本「水の天使」(現テレビ新潟・アナウンサー)は、公式サイトのプロフィールに、趣味は「ご当地マンホールの蓋の写真を撮ること」、今後の目標・夢は「水道・下水道をテーマにした特集の企画をする!」と記しており、1年間に多数イベントに出演することで、中長期的な業界のPRにも寄与するケースも想定される。